

第2号報告 令和元年度事業計画について

令和元年度 計画頭数

1 家畜の登録、登記、検定及び会員数

家畜改良増殖法により承認された各種畜の登録規程に基づき、次のとおり登録、登記、検定等を行う。

登録登記検定頭数及び会員数				
種 畜	登録登記の種類	令和元年度計画 頭数及び員数	平成30年度計画 頭数及び員数	増 △ 減
乳 牛	血統登録	280	300	△ 20
	移動証明	120	120	0
和 牛	高等登録	80	94	△ 14
	本原登録	1,200	1,250	△ 50
	基本登録	2,600	2,600	0
	子牛登記	31,000	31,000	0
	血統証明	280	280	0
種 豚	産肉検定証明	25	30	△ 5
	産子検定	1	1	0
	種豚登録	150	150	0
	子豚登記	340	360	△ 20
山 羊	産子登録	15	20	△ 5
合 計		36,091	36,205	△ 114
会 員	乳牛会員	35	35	0
	和牛会員	2,750	2,800	△ 50
	種豚会員	15	15	0
	種馬山羊会員	250	260	△ 10
	団体賛助会員	2	2	0
計		3,052	3,112	△ 60

2. 家畜改良振興事業

1) 肉用牛の家畜審査講習会

畜産共進会の審査技術の向上及び地方審査委員の取得を目的として、家畜審査講習会を年2回開催する。

令和元年7月中旬・・・体型測定や和牛の見方の基本講習会

令和2年1月下旬・・・地方審査委員を取得目的とした講習会

2) 沖縄県主催の家畜人工授精師(牛)養成講習会における家畜審査の科目の講義等を担当し、生産現場における家畜審査に関わる人材育成を行う。開催については7月30日予定。

3) 沖縄県農業大学校における家畜育種講座の中で、家畜の改良の講義を担当し、農林高校では家畜審査講習会の審査委員を担当し、後継者育成を支援します。開催については、例年4月と6月下旬頃に行う予定。

4) 和牛改良組合、市町村、南部・中部・北部・宮古・八重山の各地区、県共進会への審査委員を派遣し、農家指導を行う。

5) 和牛生産農家に対して、実績報告書や交配シミュレーション、分娩間隔、後継牛の対策等の指導を行う。

6) 各和牛改良組合に対して、生産性の高い雌牛集団を構築するため高等登録の受審促進を行う。

7) 県内の乳用牛の生産性向上のためホルスタイン登録協会と連携し、体型データの収集と評価を行い、乳用牛の改良を促進させるような指導を行う。

令和元年 7月・・・第1回体型調査

令和2年 1月・・・第2回体型調査

8) 種豚対策として、能力の高い指定種豚場の種豚を一般農家へ普及させると同時に指定種豚場の登記・登録豚に対し半額助成を行う。また、アグー豚登録推進を行う

9) 山羊対策として「出生確認」山羊を増頭させ、現場のニーズにあった大型山羊への改良指導を行う。

10) 新事務所の新たな機能を活かして講習会を定期的で開催するとともに、農家カルテに基づく個別指導を行う。また、農家の要望に応えられるよう関係機関との連携を強化する。

11) 大学と連携して、沖縄の和牛繁殖雌牛の特徴を分析させ農家指導に役立てていく

3. 肉用牛振興推進事業

離島地域において、現状における繁殖能力及び産肉性等について調査分析し、繁殖雌牛の体型比較検討会及び研修会を行いながら、今後の地域の改良の方向性や個々の農家の育種価や分娩間隔の改善点などの指導を行う。

令和元年12月・・・与那国町繁殖雌牛検討会

令和2年 1月・・・竹富町黒島繁殖雌牛検討会

4. 繁殖雌牛改良促進事業

母集団のレベル向上を図るとともに、沖縄県の特徴のある種雄牛造成に寄与するため、ITを活用した農家個々の情報をいち早く提供するように取り組む。

県内各改良組合において、地域の特徴を伸ばすことや、地域の問題点を課題として取り上げるとともに、飼養管理技術の向上を図るための研修会を下記地区で実施する。

○石垣地区, 宮古地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月開催予定

○久米島地区, 伊江地区, 南部地区, 中部地区, 北部地区・・・・・・ 10月開催予定

5. 優良肉用牛生産推進事業

県内優良肉用牛生産基盤及び肉質向上推進のため県内生産農家に脂肪交雑の上位1,000番以内の母牛に優良種雄牛の交配シミュレーションを行うとともに通知して計画交配を推進させ、また、期待の期待、期待育種価及び分娩間隔等を送付して能力の高い後継牛保留対策を促進させるため農家指導を行う。

6. 全国和牛能力共進会出品対策事業

第12回全国和牛能力共進会に向けて各組織と連携して、第12回全国和牛能力共進会沖縄県協議会の設立総会を5月に開催する。また、畜産研究センターと連携して、第7区脂肪の質の区に出品のためMUF Aやオレイン酸の測定を実施し、データ収集に向けての取り組みを今年度同様に取り組む。

7. 家畜人工授精用精液取扱事業

沖縄県畜産研究センター及び一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センターから家畜人工授精用精液を県内で開設している家畜人工授精センターや人工授精師へ供給して、農家の需要に応えるとともに、県及び家畜改良事業団の新規種雄牛の情報や交配指導等を行う。

8. ゲノミック育種価優良雌牛保留事業

家畜改良事業団のゲノミック評価を活用して、ゲノミック育種価等の優秀な雌牛の保留促進と第12回鹿児島全共に係る第5区高等登録郡出品候補牛およびその母牛等の増頭による基盤整備を目的に行う。

9. おきなわ山羊改良基盤整備事業

おきなわ山羊を大型化するため優良種畜の測定や選抜・選定を実施して山羊の改良を行い計画交配や国外から優良山羊を導入して1頭当たりの肉量増加を図り、生産効率向上に取り組む。

10. その他

指定種豚連絡協議会、和牛改良組合連絡協議会、沖縄県家畜人工授精師協会の任意団体に対し円滑な事業を推進させるため積極的に支援を行う。